



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～



**わんぱく
学習塾開校**

のイベント開催!!



「わんぱく学習塾」が開校しました。今年で早や 7 回目となります。自主学習の後は、科学教室、子どもヨガ、防犯教室、音楽ライブ、お箸づくりなど今回もバラエティーに富んだ内容で大好評でした。毎年お手伝いいただいている、元教員経験者の方々、今年から新たにボランティアに加わっていただいた方々、暑い中ありがとうございました。参加者数はのべ 157 名となりました。



科学教室 (7 月 23 日)



「子どもヨガ」にチャレンジ(7 月 24 日)



「防犯のおはなし」(7 月 26 日)



音楽ライブ(7 月 30 日)



「マイ・おはし作り」 (7 月 31 日)

おばけやしき をつくろう

8 月 3 日(土)、西黒田子ども会主催の「おばけやしきをつくろう!!」が開催されました。参加した 38 人のちびっ子たちは、カモンカンパニーさんのご指導の下、自分たちで考えたお化け屋敷づくりに挑戦しました。お昼は子ども会の役員の皆さんが作ってくださったカレーを、みんなで楽しくいただきました。午後はみなでおばけに変身!! 西黒田まちづくりセンターのホールにはお化け屋敷が完成し、観覧に来られた皆さんは、子どもたちが一生懸命作ったおばけ屋敷に、驚いたり、楽しんだりしておられました。スタッフの皆さん、暑い中お疲れ様でした。



列見寺山忠魂碑の清掃

7 月 20 日(土) 小雨降る蒸し暑い中、朝早くから列見寺山忠魂碑周辺と、まちセン前庭の清掃と葉刈りが行われました。今年は珍しく朝からの小雨で幾分か体感温度は例年よりは低めに感じましたが、熱中症に気遣いながらの作業となりました。2 時間ミッチリ作業に取り組んでいただき、見違えるようにきれいになりました。ふるさと振興会議の理事の皆さん、シルバー人材センター西黒田班の皆さん、暑い中ありがとうございました。



平和祈念祭

終戦から 75 年目を迎えた 8 月 15 日(木)、平和祈念祭が、まちづくりセンターホールにて厳かに行われました。台風 10 号が接近の中、遺族会や各団体のご来賓と、各町の子も達 18 人にも参加いただきました。戦没者を追悼し平和を祈念する日であり、ご英霊に感謝し一分間の黙とうの後、献花を行いました。その後、遺族会の中尾幸太郎さんから、戦時中の体験談のお話をいただきました。





先進地視察研修に参加して

西黒田ふるさと振興会議副会長 武田 庄索

去る 7 月 28 日(日)に西黒田ふるさと振興会議先進地研修が開催されました。(19 名出席)。今回の先進地は三重県名張市でした。名張市百合丘市民センターにて青蓮寺・百合丘地域づくり協議会のスタッフから各種の地域活動の説明をしていただきました。内容は、①青蓮寺・百合丘地域づくり協議会の概要について、②文部科学大臣賞の「地域学校活動」について、③安全防犯委員会の活動について、④質疑応答の 4 部構成でした。①青蓮寺・百合丘地域づくり協議会の概要では、名張市の概況の説明が行われました。現在の人口は約 78,550 人、大阪と名古屋の間に位置し昭和 30 年代後半からベッドタウンとして栄え 3 万人が平成 6 年には人口 8 万人を突破した市とのこと。しかし、どの地域でもそうですが少子高齢化の波にのまれ平成 14 年には市長より財政非常事態宣言が発令されました。住民自治の確立が求められ、「自分たちのまちは、自分たちでつくろう。」のもと、まちづくり組織が創設されています。詳細な説明は難しいので割愛しますが従来の補助金に頼った組織ではなく「使途自由一括交付金」を受け取り地域づくり組織の活動原資にあてて運営する組織のようです。現在は、地域交付金のみに頼らない活動も広がり、地域の雇用も生まれつつあるということに感心しました。②文部科学大臣賞受賞の「地域学校活動」では、「地域と学校が連携して子どもたちの成長を支える活動記録」の報告をされました。ほめほめ隊と名付けられた組織にて様々な学校支援を行われていました。現在、発達障害の児童が増えているといわれ授業の成立の厳しさを伝え聞きます。この地域では、ほめほめ隊が授業に参加し児童サポートを行っておられました。こういった地域と学校の協働に驚きましたが、地域のこども達を地域の皆が育てる意識を持ち実践することで、子ども達は必ず地域に感謝し積極的に地域に関わる人に成長してくれると信じて活動しているとのこと。③安全防犯委員会の活動では、各種の防犯活動の説明をされました。シニアボランティアによる小学校区の下校時間パトロール、8・3 運動の実施(地域の人が午前 8 時、午後 3 時に散歩や庭の手入れ等をして子どもの安全を見守ること)、定期的な防災訓練(地域特性上、地震・大雨が主)を継続されています。災害は大規模になるほど行政の対応は限界に達し、外部からの支援で救える命は少なくなるとのこと。地域コミュニティでの防災の必要性を感じました。そして、④質疑応答でも懇切丁寧に回答をいただきました。なかでも、地域支援はシニアボランティアが主体となるが、シニアの地域デビューが雇用延長の影響にて高齢化する傾向にあり、地域づくりの担い手、次の担い手の養成が大きな課題であり若者の参画意識が芽生えやすい土壌を作る工夫が必要と言われていたことが印象的でした。

最後になりましたが、先進地研修を受け入れていただいた名張市青蓮寺・百合丘地域づくり協議会の皆様、準備が大変だったと思います。ありがとうございました。

さて、「大きなことは無理ですが、小さなことからコツコツと。」、8・3 運動に近いことは出来るかもしれません。西黒田のまちづくりの取り組みが少しずつ発展していければと思います。皆様、地域活動へのご協力を今後もよろしくお願いします。



先進地【青蓮寺・百合ヶ丘地域づくり協議会】視察研修に参加して

～「豊かな人間関係で育まれる一地域の人材育成」～

西黒田ふるさと振興会議理事 若林 佳子

台風一過で夏の太陽が朝からじりじり照りつける中、視察研修に参加しました。新鮮な空気や清らかな水とともに、風光明媚な自然に恵まれた三重県名張市の「青蓮寺・百合ヶ丘地域づくり協議会」の活動状況を聞いてまいりました。

子ども・高齢者・しょうがい者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共に作り、高め合える地域社会(地域共生社会)を目指されて、①「我が事」の意識づくり②「丸ごと」の相談支援体制③多機関の協働という 3 本の柱を中心に地域を包み込むネットワークでまちづくりを推進しておられます。

西黒田ふるさと振興会議でも既に取り組んでいる「きんたろうサポート会」のような移動(買い物)支援や生活困りごとお助け支援の他、子育て・高齢者のサロン、カフェバルーン、園芸活動「ひだまり」などもされていますが、何より私がすばらしい、取り入れてみたいと思った事業は「コミュニティスクール」といわれている、地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を育む事業です。地域の全住民の意識と行動で行う、登下校の見守り・安全指導やあいさつ運動をはじめ、学習支援者が授業に入り授業の円滑化と学習の効率アップを行う「ほめほめ隊」(家庭科や水泳授業の補助等)、夏休み宿題応援、昔遊びの協力など描ききれないほどのメニューをされていることに驚きました。活動が続くわけは、地域学校協働による「四方よし」(①児童②学校③家庭(P T A)④地域)の活動だからだと思います。学校でお世話になった子ども達は大きくなると地域の行事に積極的に参加するようで、活動継続の原動力となっているということでした。

研修後半は、伊賀上野城見学や信楽焼きの登り窯などを見学させていただき、有意義で楽しい研修となりました。ありがとうございました。

INFORMATION・お知らせ

応募〆切迫っています!!

★親子ふれあい冠句大会 作品募集

〆切 9 月 20 日(金) どしどしご応募ください。

但し、中学・小学生の部は 8 月 31 日(土)まで
詳しくは、7 月末で配布済みの応募用紙をご覧ください。

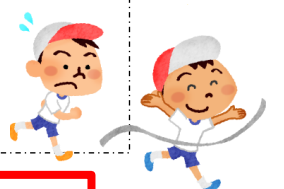


★西黒田防災・減災フェア

日時 9 月 22 日(日) 9 時～(小雨決行)
各町の一時避難所より集合
場所 西黒田まちづくりセンター

★第 50 回西黒田地区民金太郎運動会

日時 10 月 13 日(日) 8 時半～(雨天中止)
場所 松の岩公園グラウンド



★南幼稚園報告会

日時 9 月 3 日(火) 19 時半～
場所 西黒田まちづくりセンター



お問い合わせ先：西黒田まちづくりセンター 62-0381